

2024 年度にお寄せいただいたご意見について

保護者からのご意見	園としての対応及び今後の取組等
降園後お電話があり、「お迎えの際に紙パンツに換えるのを子どもが嫌がっているのに、無理に換えようとしていた。おもらしをしないようにと思って換えてくれていると思うが、嫌がっているのを無理に交換せず、布のパンツで帰ったらダメなのか。また、担当していた保育士の口調が強く気になった。とのお話だった。	そのクラスの担当保育教諭、保育補助に確認したところ、以前本児のお母様より「帰宅時におもらしをしたら困るので、降園時は必ず紙パンツに換えてください」との訴えがあったため、担当職員としては、必死でオムツ交換をするようにしていたとのことだった。 翌日直接担当保育士がお母様と話をさせていただき、口調が強く感じられたことについて、以後気を付けることをお伝えする。これまでの経緯をお話し、紙おむつに換えていたことについてご納得いただく。その上で、「本児が布パンツで帰るというなら、前回の排尿より時間が空いていても布パンツで帰るようにし、その際は布パンツであることを保護者にお伝えする」「17 時以降のお迎えの時は紙パンツに換えておく」という 2 点を保護者と確認し、実行していくこととなった。
お迎え時に子どもがなかなか靴下を履かずに走り回っていると、対応してくれた職員が「履くの？履かないの？どうするの？」と。ドアを開けて廊下を走っていくところに「走らない！」ととても言い方がきつく、2 歳児に対してそこまで言わなくても…と気になったとのご意見があった。	話を聞いた担任が謝罪すると、「細かいことを言ってすみません」とお母さまもひどく怒っているわけではなく伝えておきたかったとの話であった。 職員間でもこのご意見を共有し、改めて保育についての振り返りを行った。
夕方のお迎え時、他の学年の親数名が立ち話をされていて、子どもたちが通路であそび、「とおせんぼ」といって通れず、ぶつかってきたとの旨を保育者に訴えられた。 以前よりそのようなことが度々あったようで、その日は特に大人数で迷惑だったとのお話を翌日の連絡帳にも書いてこられた。	その場で、話を聞いた保育者が立ち話をされていた保護者に声をかけさせていただく。また翌日より、全保護者に向けて出入りの多い扉に、“子どもの安全のために、速やかに降園ください”という内容の張り紙を掲示した。